

(様式1)

データ関連人材育成プログラム
申請の概要

1. 申請取組

代表機関名 総括責任者名	国立大学法人 広島大学 学長 越智 光夫
実施予定期間	平成 29 年度～平成 36 年度
実施予定所要 見込額	【所要見込額】 平成 29 年度：総額：140 百万円（うち自己負担額 70 百万円） 平成 30 年度：総額：140 百万円（うち自己負担額 70 百万円） 平成 31 年度：総額：140 百万円（うち自己負担額 70 百万円） 平成 32 年度：総額：140 百万円（うち自己負担額 70 百万円） 平成 33 年度：総額：140 百万円（うち自己負担額 70 百万円） 平成 34 年度：総額：70 百万円（自己負担額） 平成 35 年度：総額：70 百万円（自己負担額） 平成 36 年度：総額：70 百万円（自己負担額） 総 額：9 億 10 百万円（うち自己負担額 5 億 60 百万円）
目標・行動計画 の設定	<p>中国四国地方及び周辺地域の博士人材を主たる養成対象として、複数の大学と企業等が構成メンバーである「情報社会を牽引する博士人材育成コンソーシアム（HIKARI）」（Home for Information/Knowledge Advancement and Researcher Cultivation for Innovation）を形成する。様々な専門性を有する博士人材を高度データ関連人材として育成し、産業界に輩出することにより、Society5.0 の実現に貢献する。特に、中国四国地方に集積するモノづくりおよび基礎素材型産業の強みを高度化する人材の育成と、域内で課題が見られる商業およびサービス産業の強化に貢献できる人材の育成を目指す。そのために、社会のニーズを把握したうえで、基礎（各人の専門に応じて選択）・応用（PBL）・実践（インターンシップなど）を含む研修カリキュラムを構築する。養成対象者は代表／参画／連携機関から公募し、毎年度 70 名程度を選抜する。その半数以上を博士課程後期の学生もしくは博士号取得者とし、多様なキャリアパス開拓を支援する。大学と企業とのパイプラインを構築し、地方創生にも資する。採択結果に関わらず、代表／参画／連携機関で情報共有を図り、実施可能な取り組みから実行する。</p> <p>代表機関は、第 3 期中期目標・中期計画の中で、地域社会との連携の高度化と国際競争力やイノベーション創出に貢献する取組を進め、高度専門人材を養成することを明記している。同様に、参画機関（予定大学）の第 3 期中期目標・中期計画においても、地域振興の核となる人材、地域の課題解決に貢献できる人材の育成を明記している。本プロジェクト推進は、その具体的な活動である。</p>

(申請機関名：国立大学法人 広島大学)

<p>取組の概要</p>	<p>【育成する人材】 本プログラムでは、主として下記テーマに貢献する人材の育成を目指す。ただし、いずれのテーマも代表／参画／連携機関のニーズを踏まえつつ、最適化を図る。</p> <p>1) モノづくり／基礎素材型産業の高度化 中国四国地方は輸送機器や機械等の製造拠点を有するモノづくり企業および化学や鉄鋼等の基礎素材型企业が集積する強みを有する。数理モデリングなどの活用、素材や製造プロセスの効果的な探索など、データサイエンスを応用することで当該産業の強みを高度化できる人材を養成する。</p> <p>2) 商業／サービス産業の強化 域内では少子高齢化や人口減少が進展しており、商業やサービス産業の強化に課題が見られる。統計手法やデータマイニングなどを駆使し、商業を中心とする経営やマーケティングなどで有効な知見を提供できる人材、教育や医療などのサービス産業強化に貢献できる人材を育成する。</p> <p>【代表／参画機関の役割】「プログラム協力機関」として位置づけ、中核となる大学と企業が参画し、プログラムの企画、講師派遣、教材開発などを、共同または分担して行う。上記の両方またはいずれかのテーマにおいて、プログラムの構築に全面的または部分的に寄与することができる知見や専門性を有する。その他、連携機関のうちの「ユーザー機関」（後述）と同様の役割を担う。</p> <p>【連携機関の役割】 連携機関は「コーディネーション機関」と「ユーザー機関」に大別される。「コーディネーション機関」は、地域におけるデータサイエンスの理解増進、ニーズ開拓、受け入れ機関等の拡大を図る。「ユーザー機関」は、本プログラムをユーザーとして利用する機関であり、受講者の派遣、課題／データ提供によるPBL演習への協力、インターンシップ／実地研修の受入など、連携機関のニーズに基づき活用する。</p> <p>【プログラムの構成】 本プログラムでは、中国四国地方及び周辺地域を中心とした博士人材向けの募集枠に加え、代表／参画／連携機関の職員を対象とした社会人枠も設ける。研修カリキュラムは、①基礎（専門性・スキルに応じた科目）、②応用（多様性を重視したPBL）、③実践（インターンシップ／実地研修）で構成する。受講者の多様性とネットワークを生かし、持続的なキャリア開発を行う。また、代表機関の既設プログラムも活用し、受講者のキャリア志向に応じたトランスファラブルスキルの養成やキャリア支援を行う。</p> <p>以上により、地域における博士人材を中心としたデータサイエンティストの活躍環境を整え、地方の競争力強化を目指す。</p>
<p>コンソーシアム 参画機関（予定）</p>	<p>参画機関（予定）山口大学、島根大学、徳島大学、香川大学、日本IBM、富士通、ベネッセ、マツダ、三菱総合研究所 連携機関（予定）愛媛大学、イズミ、中国経済連合会、広島県、広島県情報産業協会、広島大学産学官連携推進研究協力会</p>

（申請機関名：国立大学法人 広島大学）

2. 連絡先等

代表機関の 総括責任者	ふりがな 氏名	おちみつお 越智 光夫			
	所属機関名	広島大学			
	役職名	学長			
代表機関の 実施責任者	ふりがな 氏名	あいだみさこ 相田 美砂子			
	役職名	理事・副学長（大学改革担当）			
代表機関全 体の事務連 絡担当者 (当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)	ふりがな 担当者名	としまゆういち 豊島 祐一	役職名	グループリーダー	
	所属組織・部署名	広島大学教育室教育部グローバルキャリアデザインセンター			
	事 務 連 絡 先 (当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)	〒739-8514 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号			
		TEL. 082-424-5827		FAX. 082-424-6989	
		E-mail: career@office.hiroshima-u.ac.jp			
代表機関に おける経理 管理責任者 <input type="checkbox"/>	ふりがな 責任者名	かたやまじゅんいち 片山 純一	役職名	理事 (財務・総務担当)	
	所属組織・部署名	広島大学財務・総務室			
代表機関全 体の経理管 理担当者 <input type="checkbox"/>	ふりがな 担当者名	はらよしたか 原 義孝	役職名	教育部長	
	所属組織・部署名	広島大学教育室教育部			
	事 務 連 絡 先	〒739-8514 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号			
		TEL. 082-424-6150		FAX. 082-424-6989	
E-mail: friji-kyoikusien@office.hiroshima-u.ac.jp					

(申請機関名：国立大学法人 広島大学)

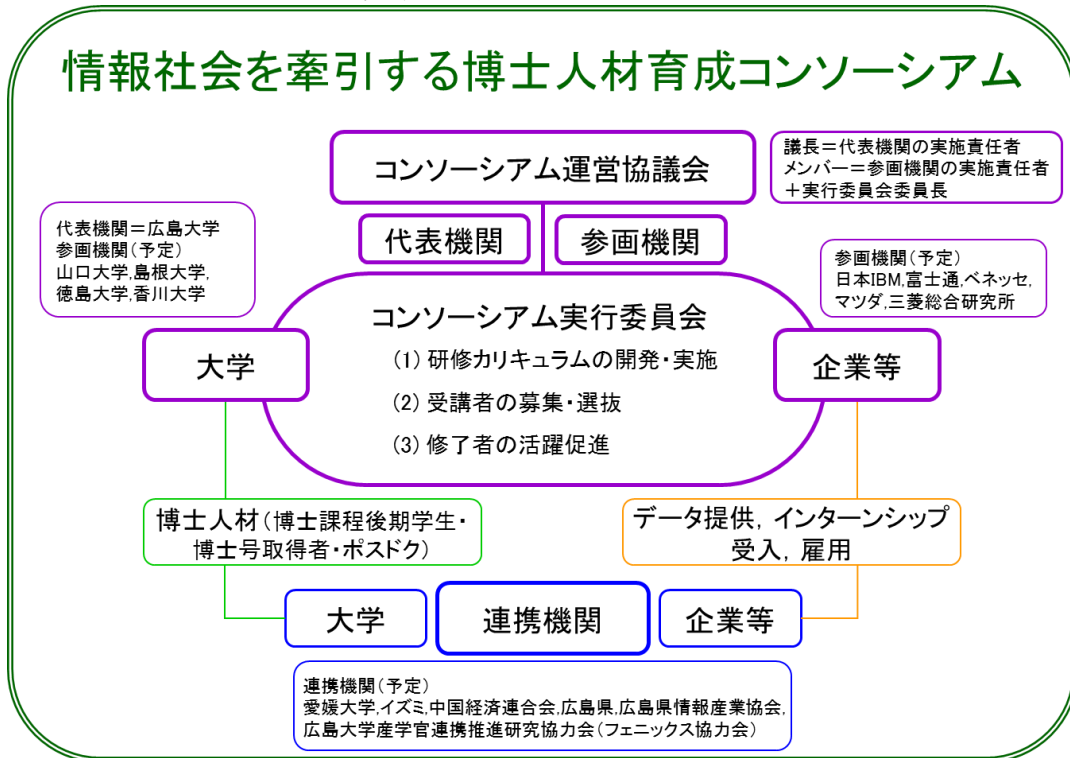
(別添資料)

「情報社会を牽引する博士人材育成コンソーシアム (HIKARI)」の概要

Home for Information/Knowledge Advancement and Researcher Cultivation for Innovation

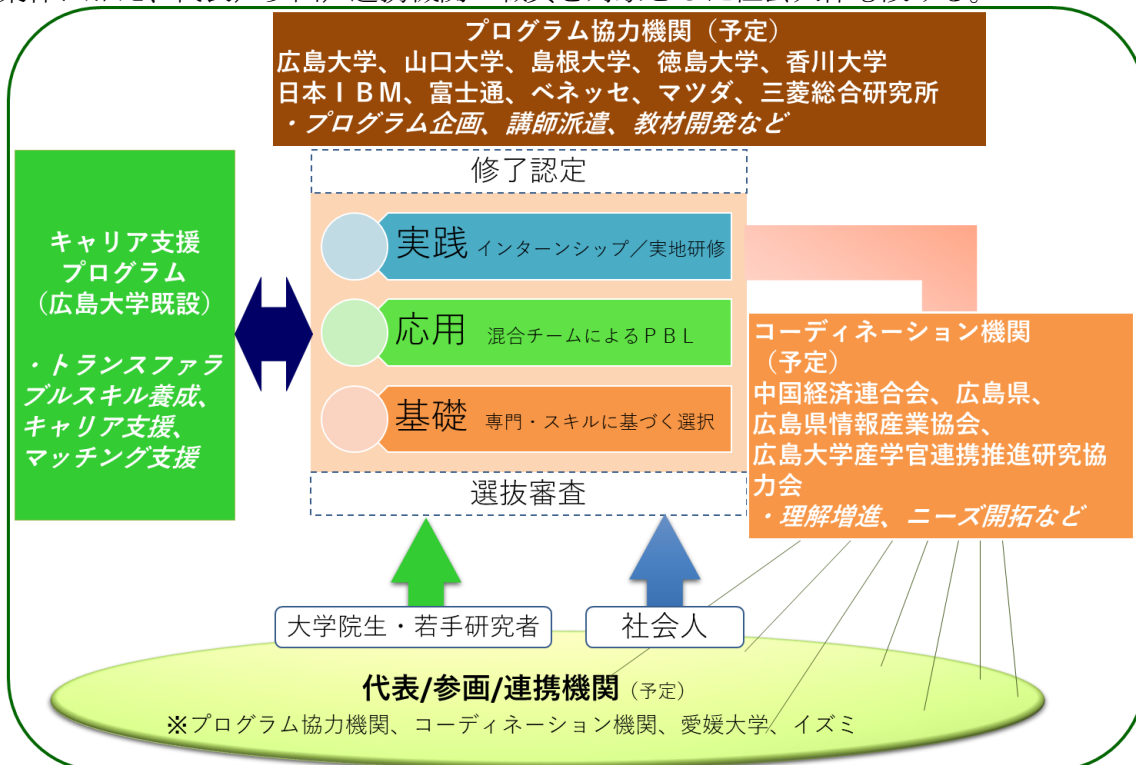
<実施体制>

コンソーシアム運営協議会は、代表機関および参画機関の実施責任者を中心に構成し、方針や計画に関する最終決定を行う。コンソーシアム運営協議会のもとにコンソーシアム実行委員会をおき、研修カリキュラムの開発、受講者の募集・選抜、修了者の活躍促進に係る具体的な取り組みを行う。



<カリキュラムの構築>

プログラム協力機関として中核となる大学と企業が参画し、プログラムの企画、講師派遣、教材開発などを共同で行う。コーディネーション機関を設け、地域におけるデータサイエンスの理解増進、ニーズ開拓、インターンシップ等の受け入れ拡大を図る。本プログラムでは、博士人材を中心とした募集枠に加え、代表/参画/連携機関の職員を対象とした社会人枠も設ける。



(申請機関名：国立大学法人 広島大学)